

# ～なるほど健康情報～

## 今月のテーマ：若い人に増えている子宮がん

今年度の子宮がん集団検診は来月11月に行われます。子宮がんは発生部位により子宮頸がん<sup>けいがん</sup>と子宮体がん<sup>たいがん</sup>に分かれています。約8割が子宮頸がんと言われています。

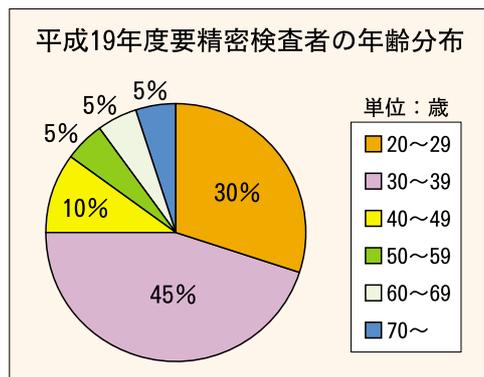
このため、検査方法としては婦人科の専門医によって子宮頸部細胞診が行われています。これは子宮頸部（出口の部分）から細胞をこすり取って顕微鏡で細胞の状態を見るもので、子宮がんを早期に発見するために有効な方法です。アメリカでは、18歳以上の女性の86%が、3年以内に1回以上検診を受けています。

一方、根室市の過去3年間の子宮がん検診の受診率は20%台で、年々低下しています。検診によって、がんを発見できることが多くあります。

根室市の女性の皆さんに、この信頼性の高い子宮がん検診をもっと活用していただきたいと思います。

また、平成19年度受診者の中で精密検

査の必要な人の年齢分布を見てみると、若年であるにもかかわらず、要精密検査者の多いことが分かります。



全国的にも、年齢別の子宮頸がんの発症は、50歳以上の中高年層ではこの20年間で順調に減ってきていますが、逆に20から24歳では2倍に、25から29歳では3から4倍に増加しています。

子宮がんは、初期には自覚症状がないため定期的な検診を受けることをお勧めします。根室市では、集団（検診車）および個別（医療機関）で検診を受けることができます。

子宮がんは早期発見と治療によって治るがんです。20歳以上の女性の皆様、この機会に子宮がん検診を受けましょう。

（保健師 近藤 真珠美）

### 根室市子宮がん検診受診率と発見がん

年度	受診率	発見がん
平成17年度	25.60%	3名
平成18年度	24.50%	7名
平成19年度	22.48%	1名

### 人の動き 平成20年9月1日現在

人口	30,545 人 (-428)
男	14,637 人 (-182)
女	15,908 人 (-246)
世帯	13,121世帯 (45)
8月の誕生	19 人 (-1)

発行・印刷 根室市役所総務課・根室印刷(株)

編集後記

■「かに祭り」「さんま祭り」が終わり、今月は「産業フェスティバル」と味覚イベントが続きます。根室の味をおもいっきり堪能しましょう。■食卓には、秋の味覚が勢ぞろい。食欲の秋なので、今後の体重が心配です。

(S)

### 10月は「土地月間」・10月1日は「土地の日」

—標語—

笑顔をつなごう 街づくり  
未来へつなごう 土地活用

大規模な土地取引には、国土利用計画法に基づく届け出が必要です。（根室市においては、都市計画区域内は5,000㎡以上・都市計画区域外は10,000㎡以上）

問合せ先

根室市役所北方領土対策・企画政策課 ☎(23)6111番 (内線2254)